

# 令和元年 山梨県観光入込客統計 調査結果(平成31年1月～令和元年12月)

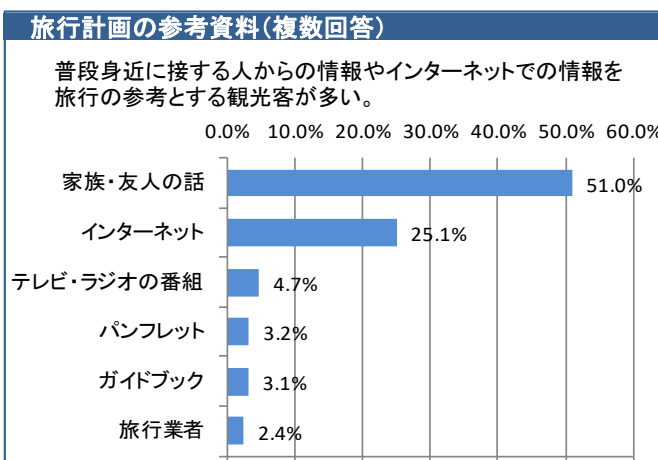
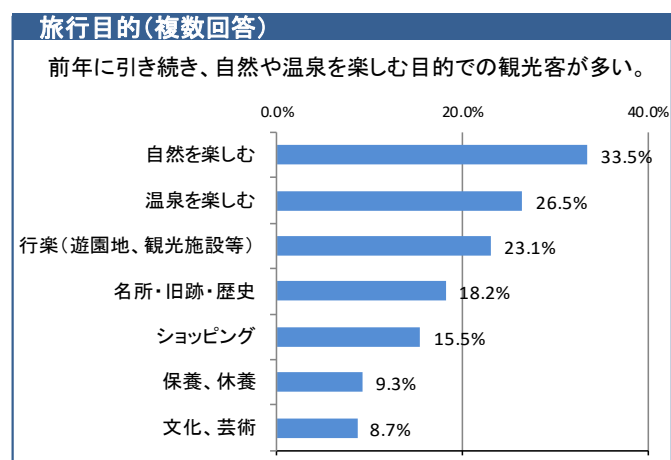
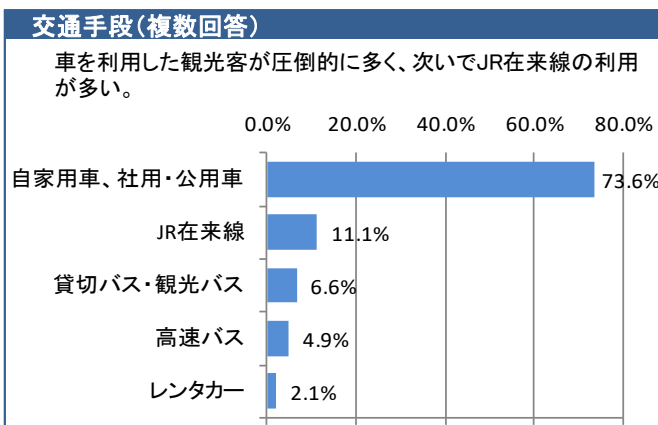
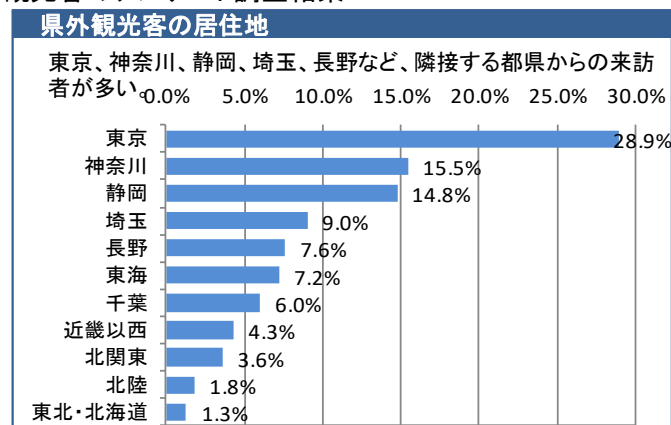
## 調査方法 ～観光庁が定めた「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく調査(平成22年4月より導入)

- 観光入込客数調査・・・397地点
  - ・ 自然(山岳、湖等)、歴史・文化(神社、美術館、ワイナリー等)、温泉・健康、スポーツ・レクリエーション(公園、遊園地等)、都市型観光(農産物直売所等)、その他(道の駅等)、行祭事・イベントなど、県内の観光地や観光施設に対して、来客の利用状況を調査
- アンケート調査・・・回答数2,885
  - ・ 対面聞き取り方式
  - ・ 四季毎に、年4回×県内10箇所調査
  - ・ 主な質問項目：性別、年齢、居住地、旅行目的、消費動向、利用交通機関、満足度、訪問地点数 等
- 宿泊客数調査
  - ・ 観光庁が実施する宿泊旅行統計調査の結果を使用。

## 結果概要

- 山梨県観光入込客(実人数)は**3,464万6千人**であり、前年比 **△8.1%**
  - ・ 日帰り客(実人数)は **2,577万6千人**であり、前年比 **△9.5%**
  - ・ 宿泊客(実人数)は **887万人**であり、前年比 **△3.8%**
  - ・ 県外客(実人数)は **2,861万5千人**であり、前年比 **+5.6%**
  - ・ 県内客(実人数)は **603万人**であり、前年比 **△43.1%**
  - ※県外客(実人数)には外国人を含む。
- 観光消費額は、**県全体で 4,330億円**であり、前年比 **+8.2%**
  - ・ 1人当たりの平均観光消費額は、**12,498円**であり、前年比 **+17.7%**
  - ・ 属性別の1人当たり平均消費額 県外日帰り客10,085円、県内日帰り客4,462円、訪日外国人日帰り5,718円、県外宿泊客24,146円、県内宿泊客19,001円、訪日外国人宿泊客12,795円
- <参考>
  - 外国人延べ宿泊者数(速報値)は222万6千人であり、前年比 **+13.5%** 出典:観光庁宿泊旅行統計調査

### ～観光客のアンケート調査結果～



## 圏域別の比較(実人数)

- 各圏域とも減少した。構成比では富士・東部圏域が51.4%と半数を超えている。

(単位:人、%)

圏域名	令和元年		平成30年		対前年比
	観光入込客数	構成比	観光入込客数	構成比	
峡中	4,962,682	14.3%	5,721,589	15.2%	86.7%
峡東	5,423,319	15.7%	6,172,513	16.4%	87.9%
峡南	2,423,320	7.0%	2,433,297	6.5%	99.6%
峡北	4,019,567	11.6%	4,864,961	12.9%	82.6%
富士・東部	17,816,624	51.4%	18,495,368	49.1%	96.3%
年計	34,645,512	100.0%	37,687,727	100.0%	91.9%

- ・ 峡中は **496万3千人**であり、前年比 **△13.3%**
- ・ 峡東は **542万3千人**であり、前年比 **△12.1%**
- ・ 峡南は **242万3千人**であり、前年比 **△0.4%**
- ・ 峡北は **402万0千人**であり、前年比 **△17.4%**
- ・ 富士・東部は **1,781万7千人**であり、前年比 **△3.7%**

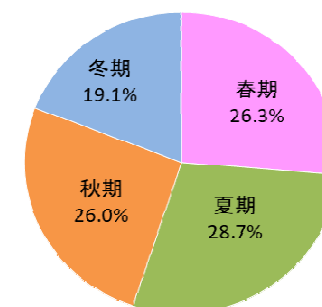
## 期別、月別の比較(実人数、3カ年比較)

- ・ 1年を春期(3～5月)、夏期(6～8月)、秋期(9～11月)、冬期(1～2月及び12月)に分け、比較した。
- ・ 1年のうちで夏期が993万人(構成比28.7%)と最も多く、冬期が661万人(構成比19.1%)と最も少ない。
- ・ 前年と比べて春期、冬期は増加したものの、夏期、秋季は減少した。特に夏期は前年比18.6%の減少となった。

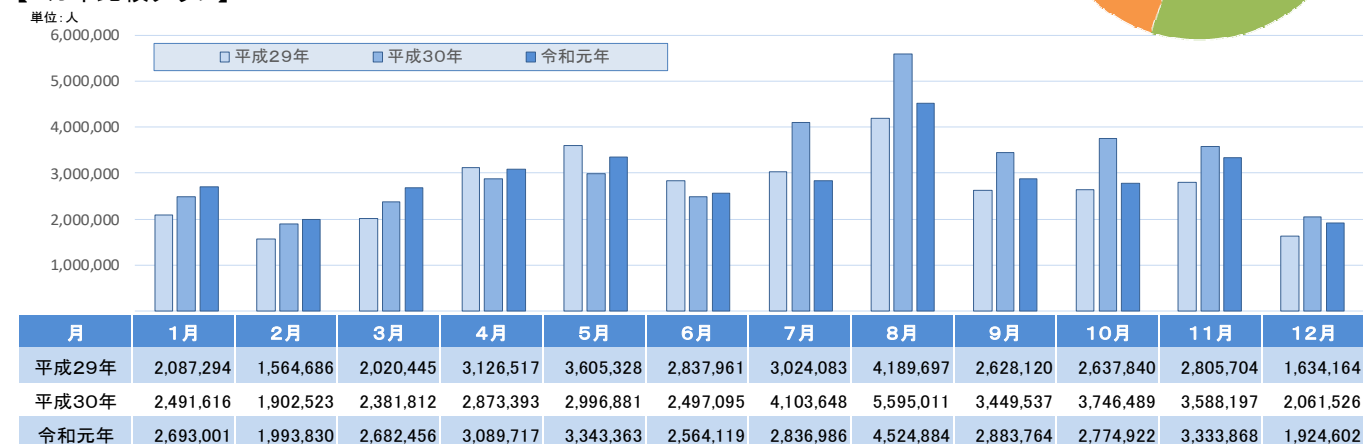
### 【3カ年比較表】

単位:人 【期別構成比】

項目	平成29年	平成30年	令和元年	対前年比	対前々年比	備考
春期	8,752,290	8,252,086	<b>9,115,536</b>	110.5%	104.2%	3～5月
夏期	10,051,741	12,195,754	<b>9,925,989</b>	81.4%	98.7%	6～8月
秋期	8,071,664	10,784,223	<b>8,992,554</b>	83.4%	111.4%	9～11月
冬期	5,286,144	6,455,665	<b>6,611,433</b>	102.4%	125.1%	12月、1～2月
年計	32,161,839	37,687,727	<b>34,645,512</b>	91.9%	107.7%	



### 【3カ年比較グラフ】



### ○ 傾向

- 1月～2月 寒気の南下が少なかったことや全般に晴天の日が多かったことにより、観光入込客数は増加した。
- 3月 対前年比で12.6%の増加となった。中部横断自動車道(新清水JCT～富沢IC、下部温泉早川IC～六郷IC)の開通等の影響によるものと考えられる。
- 4～5月 高気圧に覆われて晴れた日が多くなったことやゴールデンウィークが10連休となったことにより、観光入込客数は増加した。特に5月は対前年比11.6%増となった。
- 6月 低気圧や前線の影響で雷雨となる日があった一方、高気圧に覆われて晴れる日もあり、全体としては微増した。
- 7月 梅雨明けが7月29日と、昨年と比べて1か月近く遅かったことが影響し、対前年比で30.9%の減少となった。
- 8～9月 大気の状態が不安定となる日があり、観光客数は減少した。また、9月には大型の台風15号の影響があった。
- 10月 大型の台風19号が接近し、中央道が通行止めとなるなど、交通機関に被害を及ぼしたことにより、観光入込客数は対前年比で25.9%の減少となった。
- 11～12月 前半は晴れる日が多かったが、後半には低気圧や前線の影響で曇りや雨、みぞれの日が多くなった。